

**雲南市・奥出雲町・飯南町次期可燃ごみ広域処理施設用地選定支援業務委託  
公募型プロポーザル審査講評**

雲南市・奥出雲町・飯南町次期可燃ごみ広域処理施設用地選定支援業務委託に関するプレゼンテーション及びヒアリングを実施し、提案内容を厳正に審査した結果を次のとおり公表します。

**1. 審査過程**

本業務に意欲のある事業者に対して広く提案を募集し、優秀な提案をした事業者を選定することを目的に次のとおり公募型プロポーザルを実施しました。

公募受付 : 令和5年5月22日(月)～6月2日(金)  
一次審査 : 応募者が1者(4者以下)であったため、審査は行いませんでした。  
二次審査 : 令和5年6月23日(金)

**2. 選定事業者**

株式会社 東和テクノロジー  
393.5点/500点(企画提案に係る得点率78.67%)

**3. 審査講評**

次期可燃ごみ処理施設について、令和4年7月に雲南市、奥出雲町、飯南町で基本合意書を締結し、3市町が共同で整備に向けた検討を進めています。圏域内にある現行の処理施設はいずれも老朽化の問題を抱えているため、早期の整備実現が求められますが、そのためには施設用地を早急に確保していくことが極めて重要となります。

令和5年度より用地選定作業を本格化させることとなりますが、新ごみ処理施設整備準備室が中心となり3市町で行う作業が迅速かつ円滑に実施できるよう、応募業者には長年の業務で培われた専門性・ノウハウ・経験等を十分に活かした業務支援を期待しています。

公募の結果、参加申込まれたのは「株式会社 東和テクノロジー」1者となったため、同社のみを対象に審査を実施しました。

株式会社 東和テクノロジーは、昨年度まで雲南市・飯南町事務組合が次期可燃ごみ処理施設の広域化に係る調査・研究の一環として実施した可燃ごみ、不燃ごみに係る二つの基本構想の策定業務を受託されていることもあり、当圏域の一般廃棄物を取り巻く現状をよく把握され、当圏域の実態に即した提案がされていました。

また、用地選定支援業務について、山陰地方、中国地方での業務実績を多く有しており、近隣他自治体の状況も参考に的確な支援を受けることができるものと評価します。

さらに、今後、専門家にも参画いただき設置することを予定している「(仮称)用地選定検討委員会」においても豊富な業務実績に基づき委員の意見を集約しながら、円滑な委員会の運営にも寄与していただけるものと期待します。

**4. 審査委員**

委員長	竹下 博昭	雲南市 市民環境部長
委員	金山 雄児	雲南市 市民環境部 環境政策課長
委員	岸本 義弘	奥出雲町 町民課長
委員	永井あけみ	飯南町 住民課長
委員	榎 博章	雲南市 市民環境部 新ごみ処理施設整備準備室長